

2019年度事業計画

I. 事業方針

II. 重点事業

■ 地域産業の振興

1. 地域産業の競争力強化と成長産業の創出
2. 海外との経済交流拡大による地域産業の活性化
3. 山陽・山陰ブランド育成による観光産業の振興
4. S + 3 E のバランスのとれたエネルギー環境政策の推進

■ 広域経済圏の形成に資する基盤整備の促進

1. 圏域の拠点となる都市の機能強化
2. 中山間地域の再生
3. 広域的な連携・交流を促進するネットワークの整備
4. 地域の活性化に資する地方分権等の実現

■ 地域社会を支える人づくり

1. 産業振興を支える人材の育成
2. 多様な人材の活躍推進

III. 行政・経済団体等との連携・懇談活動等

I. 事業方針

○ わが国経済は、堅調な設備投資や個人消費の持ち直し等により緩やかな回復が続いているものの、先行きについては、米中貿易摩擦や欧州の政治情勢の不安定化等を背景に世界的な景気の減速が懸念されている。

中国地域においても同様に回復基調にあるが、人口減少と超高齢社会に直面している当地域が今後も持続的な発展を遂げていくためには、第4次産業革命の潮流をしっかりと捉え、アジア新興国の経済成長を取り込みながら、地域の持つ資源を最大限に活用し、自立的な成長力を高めていくことが求められている。

○ そのためには、社会変革を先導するデジタル技術を活用してビジネス革新を推進し、イノベーションの創出とともに生産性と付加価値を向上させることで、ものづくり産業の競争力強化や新たな成長産業の育成を図ることが急務となっている。また、成長著しいアジア新興国との経済交流を拡大し、地域製品の輸出や投資の促進によって地域産業の活性化を図ることも重要である。

○ 地域活性化の柱として今後大きな成長が期待できる観光産業については、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2025年の大阪・関西万博等に向けてインバウンド需要のさらなる拡大が予想される。当地域の豊かな観光資源に磨きをかけ、魅力や認知度の向上を図るとともに、訪日外国人の受入環境整備に向けた取り組みを加速し、旺盛なインバウンド需要を取り込むことが必要である。

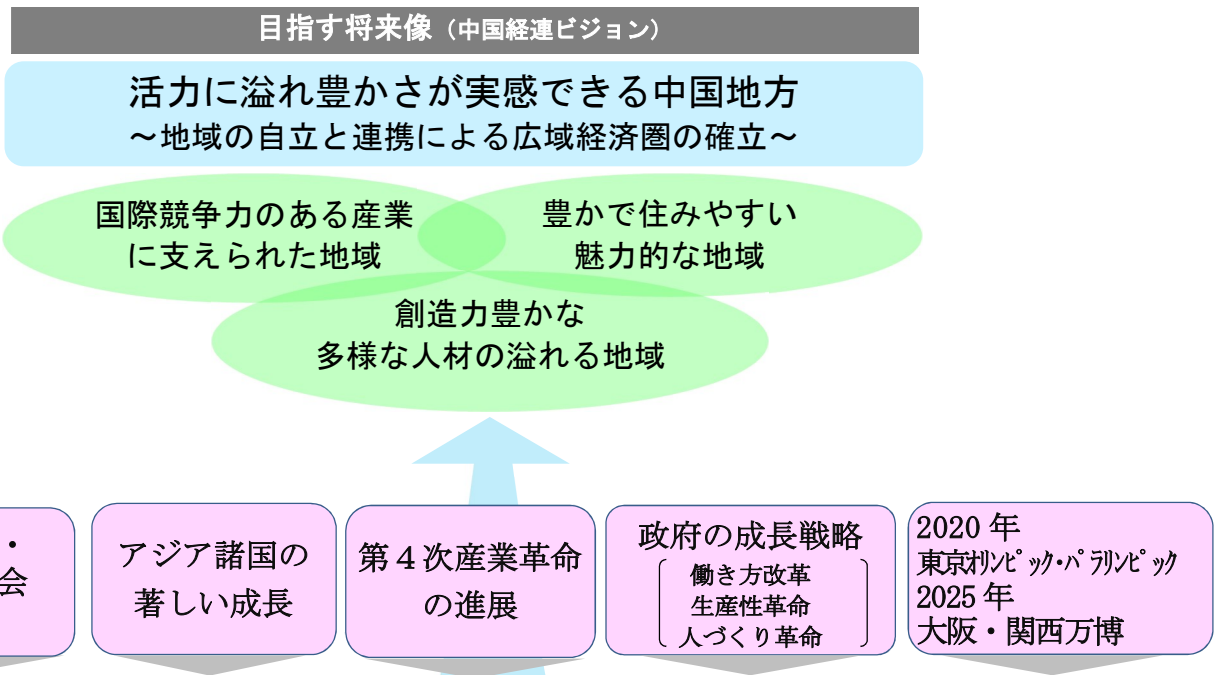
○ また、人口減少と高齢化が進展する中、地域の活力維持・向上のためには、人口のダム機能を果たす拠点都市の機能強化を図るとともに、交通・情報インフラの整備を進め、中枢都市と周辺の中山間地域との連携を高めることにより、自立性の高い圏域を形成していくことが重要である。また、先の西日本豪雨災害を踏まえ、災害に強い地域づくり、特に広域的なネットワークの強靱化も喫緊の課題である。

○ さらに、地域社会を支え次代を担う人材の育成は大きな課題であり、若手人材の地域定着を促進するとともに、ICT分野をはじめスキルの高い人材を地域で育てる仕組みづくりが急務となっている。また、働き方改革や女性の活躍推進等に取り組むことで、多様な人材が活躍できる環境整備を進めていかなければならない。

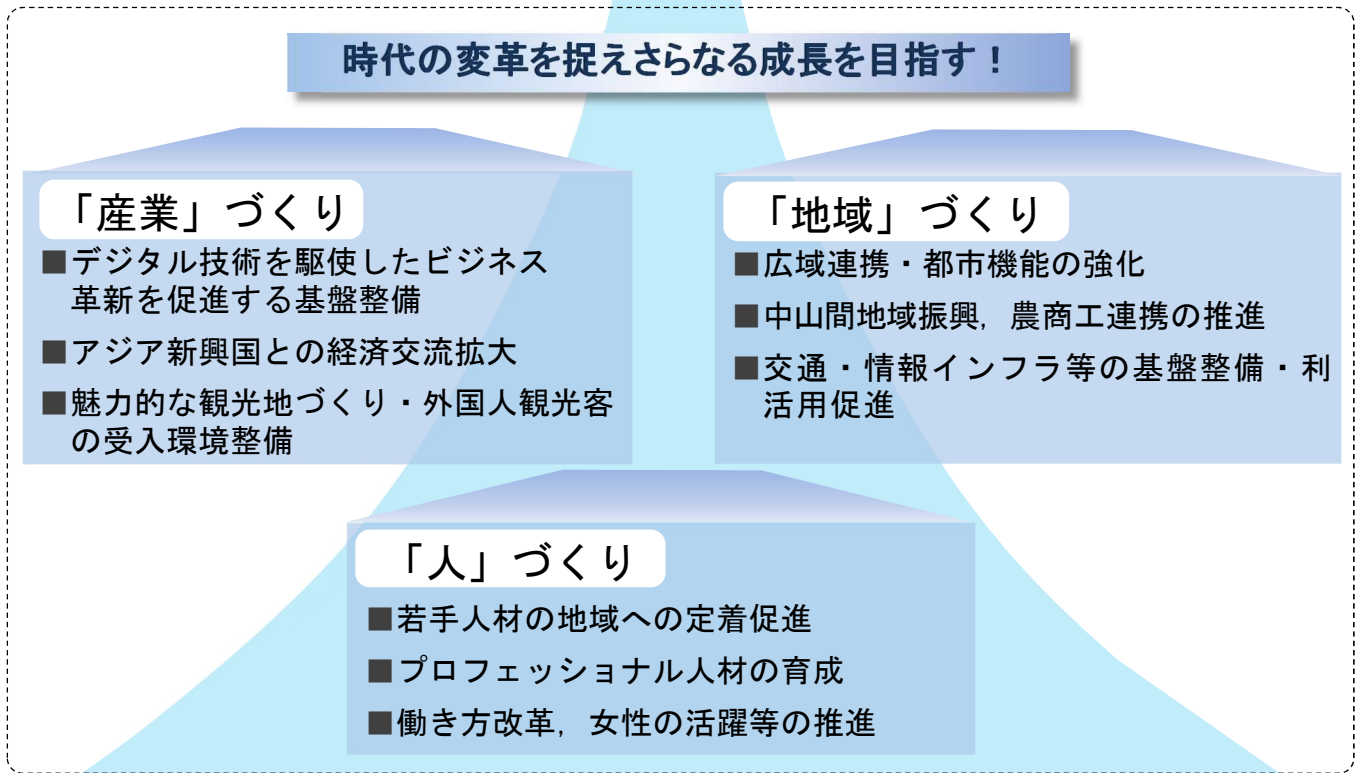
以上の基本認識のもと、「活力に溢れ豊かさが実感できる中国地方」の実現に向け、「産業」づくり・「地域」づくり・「人」づくりを推進する観点から、中期活動方針として掲げた次の3点を事業活動の柱として取り組むこととする。

- 地域産業の振興
- 広域経済圏の形成に資する基盤整備の促進
- 地域社会を支える人づくり

(参考)



【中期事業計画】



【中国経連の役割・中国地方の課題】

中国経連ビジョン

役割	中国5県を活動領域とする経済団体として、行政、各地域の経済団体・大学等と連携を図りながら、地域の活性化と発展に資する支援活動や提言・要望活動を展開し、中国経済連合会ビジョンに掲げる将来像の実現を目指す。		
課題	人口減少・超高齢社会への対応		
課題	ものづくり産業を中心とした地域産業の活力増進	地域の特産品や自然、歴史・文化など地域資源の活用	地域活性化を支える社会基盤の整備
課題	人材の育成・確保と多様な人材の活躍推進		

II. 重点事業

■ 地域産業の振興

1. 地域産業の競争力強化と成長産業の創出

製造業比率の高い中国地域においては、第4次産業革命の潮流の中で、デジタル技術の活用や研究開発・生産拠点の高度化等により、基幹産業の競争力強化、新規成長産業の育成を図ることが急務となっている。その実現に向けて、デジタル技術を駆使したビジネス革新促進の基盤となるプラットフォームを構築するとともに、産学官連携により新たな技術・製品開発を支援する。[中国地域の製造業の付加価値額 8兆円以上(2017年度 7.1兆円)]

※下線部は2019年度新規事業

中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿)	2019年度事業計画		活動スケジュール			委員会
	活動内容	活動指標 (KPI)	2019年度	2020年度	2021年度	
(1) デジタル技術を駆使したビジネス革新を促進する基盤整備						
○当地域の自治体・大学等の連携ネットワークを形成し、企業や自治体の広域的な課題の解決を促進	<p>①中国地域デジタルイノベーション推進基盤がハブ機能を担い、自治体・大学など関係機関の連携ネットワークを強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の活動の振り返りと今後の方向性策定に向けて、2018年度に立ち上げた中国地域デジタルイノベーション推進基盤主催による懇談会(中国地域におけるデジタル技術活用促進にかかわる懇談会)を開催し、情報共有・意見交換を実施 ・地域外との連携強化に向けて、産業技術総合研究所「人工知能研究センター」の全国コンソーシアムに参画し、AIを活用した観光モデル(※)作成に向けて、必要な知見、ツールを有するメンバーによるWGを立ち上げ活動を開始 (※)観光振興のための施策効果を検証できるシミュレーションモデル ・地域内外のネットワーク形成促進に向けて、中国電力・中国地域創造研究センター・当連合会による3者共同研究を実施 <p>②ビジネス革新や地域の共通課題(以下の4テーマ)の解決に向けた、WG(広域連携活動)の立ち上げ・活動開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MZ(ものづくり)プラットフォームの普及促進 [産業技術総合研究所が開発した製造業(中小企業)の生産管理を効率化するシステムの普及を促進] ・サイバーセキュリティー人材の育成 [中小企業内にサイバーセキュリティー確保に必要な知見を有する人材を育成] ・データサイエンティスト人材の育成 [地域の企業・大学が連携し、企業や自治体の課題解決を通じて実践力のあるデータサイエンティストを育成] ・MBD(モデルベース開発)人材の育成 [ひろしまデジタルイノベーションセンターと協調して、MBDを社内展開できる人材を多様な領域において育成] <p>③デジタルイノベーションに関する啓発活動、情報発信の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国における最先端デジタル技術を活用したビジネスや社会課題解決の取り組みについての講演会を開催 	<p>○中国5県、大学を対象とした懇談会開催 〔1回/年〕</p> <p>○産総研全国コンソの中に「観光モデルWG」を立ち上げ</p> <p>○3者共同研究による調査報告書の作成</p> <p>○4テーマ別のWGの立ち上げ・活動開始</p> <p>○デジタルイノベーションに関する講演会 〔2回/年〕</p>	<p>(△) IoT導入促進セミナー(各県取組み紹介)活用促進懇談会 〔経産局主催 推進基盤共催〕</p> <p>(△) デジタル技術の活用促進懇談会 〔推進基盤主催 経産局・総通局共催〕</p> <p>△観光モデルWG立ち上げ △総会 産総研「人工知能研究センター」コンソーシアム運営委員会(月1回程度)</p> <p>△・△ 調査報告書 新たな連携先発掘に向けたヒアリング</p> <p>WG体制構築 ↓ 具体的な活動</p> <p>△ 講演会 △ 講演会</p>	<p>(△) 同左</p> <p>(△) 同左</p> <p>△総会</p> <p>成功事例創出</p> <p>△ 講演会 △ 講演会</p>	<p>(△) 同左</p> <p>(△) 同左</p> <p>△ 講演会 △ 講演会</p> <p>△ 講演会 △ 講演会</p>	産業技術 情報通信
(2) 産学官連携の推進による新たな技術・製品開発の取り組み支援						
○各機関や企業等が取り組む新技術・新製品の開発を促進するための産学官マッチング(共同研究等)の拡大	<p>①「中国地域産学官コラボレーション会議」を通じた情報収集・発信のハブ機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コラボ全体会議の開催 ・中国地域産学官連携コンソーシアム(さんさんコンソ)の運営に参画し、広域連携による企業等の課題解決および大学等の知見活用支援 <p>②企業間マッチングネットワーク(リンカーズ)を活用したマッチングの拡大と課題解決支援</p>	<p>○地域イノベーション創出の促進 〔産学マッチングイベント主催 1回/年〕</p> <p>○シーズ・ニーズのマッチング実現 〔リンカーズに関する会員企業への情報発信 1回以上/年〕</p>	<p>情報収集・発信 △ コラボ全体会議さんさんコンソ(産から学へのプレゼン)</p> <p>リンカーズシステムを活用した企業間のマッチング</p>	<p>情報収集・発信 △ コラボ全体会議さんさんコンソ(産から学へのプレゼン)</p> <p>リンカーズシステムを活用した企業間のマッチング</p>	<p>情報収集・発信 △ コラボ全体会議さんさんコンソ(産から学へのプレゼン)</p> <p>リンカーズシステムを活用した企業間のマッチング</p>	産業技術

アジア新興国の経済成長を取り込み、地域産業の活性化につなげる観点から、中国地域製品の輸出促進を図る。また、地域の企業の海外展開、競争力強化に資する交流事業の拡大、外国人材の活用促進等を行うとともに、国際的イベントへの協力・機運醸成により、地域としての国際交流環境整備に貢献する。

2. 海外との経済交流拡大による地域産業の活性化

中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿)	2019年度事業計画		活動スケジュール			委員会
	活動内容	活動指標 (KPI)	2019年度	2020年度	2021年度	
(1) アジア新興国等への企業進出支援, 事業展開・輸出促進						
○地域製品の輸出増加, 地域企業の海外進出拡大 ・地域企業による輸出増加 [現状の中国地域輸出額 全国シェア6.9%(2017)] ・アジア新興国への進出を拡大	①アジア新興国等への輸出促進事業の実施 ・海外における中国地域のお酒プロモーション(海外バイヤー試飲・説明, 酒蔵見学ツアー造成)の実施 ・中国地域農産品・工芸品等の輸出促進に向けたジェトロ・地域商社等との連携強化・連携方策の検討	○海外展開・輸出拡大促進 輸出促進事業の実施 1回/年	関係先, 出展企業との調整 輸出促進事業実施 成約フォロー 行政機関・地域商社等との連携検討	関係先, 出展企業との調整 輸出促進事業実施 成約フォロー 行政機関・地域商社等との連携事業調整	関係先, 出展企業との調整 輸出促進事業実施 成約フォロー 行政機関・地域商社等との連携事業の実施	国際
	②イスラム諸国のゲートウェイとしても期待されるマレーシアとの交流事業の実施 ・政府機関要人と企業とのビジネスミーティングを開催する等, マレーシア投資開発庁(MIDA)との交流協定を活かした交流事業を実施 ・会員ニーズを踏まえた新たな交流先の検討	○マレーシアとの経済交流 交流事業の実施等 1回/年	MIDAとの調整 マレーシア交流事業 ↑	MIDAとの調整 マレーシア交流事業 企業ニーズの把握	MIDAとの調整 マレーシア交流事業	
	③ジェトロ等との連携による海外事業展開支援・輸出促進セミナー等の開催	○海外ビジネスノウハウの提供 セミナー実施等 2回/年	新規交流先の検討・調整 海外展開支援セミナー 輸出促進セミナー	新規交流先 新規交流先現地調査 海外展開支援セミナー 輸出促進セミナー	新規交流先との調整・交渉 海外展開支援セミナー 輸出促進セミナー	
	④中国地域における海外交流促進(受け入れ環境・体制整備に関する方策の検討・推進)	○海外ビジネスノウハウの提供 セミナー実施等 2回/年	△ 受入事業	ジェトロ等海外支援機関等との連携 △ 受入事業	△ 受入事業	
(2) 外国人材の活用促進						
○外国人材の活用・戦略化による地域企業の競争力強化 ・中国地域の専門的・技術的分野の外国人就労者数 [(2018年10月)7,157人 → 8,500人]	①留学生就業の支援, 就労推進(県・大学等による取り組みとの連携強化) ・大学等と連携したオンリーワン・ナンバーワン企業冊子(2018年度作成)を活用した留学生の中国地域への就職促進	○企業の国際人材活用 ニーズ把握と環境整備支援	冊子を活用した留学生就職支援 留学生就業支援事業 留学生支援機関との連携	必要に応じて内容更新・大学へ周知等, 適宜留学生就職支援に活用 留学生就業支援事業 留学生支援機関との連携	留学生就業支援事業 留学生支援機関との連携	国際
	②企業のニーズに基づく, 外国人材受け入れ環境整備等に関する要望実施	○企業の国際人材活用 ニーズ把握と環境整備支援	企業の国際化 フォロー 環境整備等要望	企業の国際化 フォロー 環境整備等要望	企業の国際化 フォロー 環境整備等要望	
(3) 中国地域企業の国際化に有用な情報収集, 海外視察・調査の実施						
○海外経済・政治情勢等に関する適宜・的確な情報収集・提供	①EU・中欧経済視察団の派遣(ドイツ, オーストリア, ハンガリー, クロアチア) ・変容するEU経済, 自動車関連産業の動向等	○海外事業に有用な情報収集・提供 調査団派遣 1回/年	視察先検討 情報収集 現地調査団派遣 調査報告	視察先検討 情報収集 現地調査団派遣 調査報告	視察先検討 情報収集 現地調査団派遣 調査報告	国際
	②海外展開に有用な基礎情報の収集・提供	○海外事業に有用な情報収集・提供 調査団派遣 1回/年				

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に中国地域の外国人宿泊者数320万人泊の達成、また、その後の観光需要の一層の拡大に向けて、山陰・山陽が一体となり、地域の魅力向上、国際的な認知度の向上、受け入れ環境の整備に取り組み、誘客促進を図ることが必要。行政や観光推進組織と連携しながら、中期的な視点での取り組みが求められる受け入れ環境整備を中心に取り組む。
 [2020年中国地域の外国人宿泊者数 320万人泊 (2017年 167万人泊)]

3. 山陽・山陰ブランド育成による観光産業の振興

中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿)	2019年度事業計画		活動スケジュール			委員会
	活動内容	活動指標 (KPI)	2019年度	2020年度	2021年度	
(1) 観光資源の磨き上げによる魅力的な観光地づくり						観光文化
○瀬戸内海におけるクルーズの活性化 〔クルーズ船寄港数 〔(2018年) 403回 → 600回〕〕	①瀬戸内海クルーズ推進会議を通じたクルーズ推進 ・国(中国、四国、近畿、九州各地方整備局、運輸局)、地方自治体、民間団体等が連携し瀬戸内海クルーズの活性化施策に取り組み。 〔瀬戸内各港湾のクルーズ船受け入れ環境改善 ・クルーズ船寄港地の魅力づくりと情報発信 ・クルーズ船誘致活動の充実 等〕	○瀬戸内海クルーズ船寄港数 450回	情報発信向けプラットフォーム(プロトタイプ)構築 クルーズ船寄港地に関する情報発信 瀬戸内各港湾のクルーズ船受け入れ環境改善 瀬戸内海における外航・内航クルーズの誘致	寄港数 500回	寄港数 600回	
○サイクリング環境向上を図ることにより中国地域におけるサイクルツーリズムの振興	①サイクリング環境の整備促進 ・行政と連携し、中国5県が推奨する3つのサイクリングルート(やまなみしまなみルート、日本海瀬戸内ルート、日本海沿岸ルート)を対象に整備を推進。 〔道路関連整備(サイクリング関係の安全対策、案内標識、休憩所等) ・ソフト関係の整備(滞在コンテンツの充実、ルートマップ作成、情報発信の充実等)〕	○広域推奨ルートにおけるサイクリング環境の向上 〔滞在コンテンツの作成〕	道路標識等の道路関連整備の推進 滞在コンテンツの充実、ルートマップの作成 情報発信の充実			
○歴史的な街並みを活用した新たな観光地整備 〔各県1ヶ所以上〕	①歴史的な街並みの保存、活用の推進 ・プロジェクトへの参画(雲南市吉田地区(たたらの里構想)等) ・事業可能性調査の実施(広島市佐伯区湯来町) ②歴史的な街道の活用 ・中国地方整備局と連携した街道の活性化の促進 〔ちゅうごく街道交流会議による活動団体支援 ・夢街道ルネサンス事業の継続実施 ・日本風景街道ちゅうごくの活性化策の取り組み(表彰制度、案内看板の統一、道の駅との連携強化など)〕	○町並み保存プロジェクトの立ち上げと参画 〔新規1地区/年〕 ○夢街道ルネサンスの新規認定 〔1地区/年〕 ○活性化策策定・実施 〔年度内に策定〕	古民家改修の可能性調査・支援(古民家再生プロジェクトへの参画) 広島市佐伯区湯来町 広島市佐伯区湯来町の観光まちづくりに関する調査・報告 △交流会議・認定式 △認定 国道事務所管轄区域における勉強会・交流会の開催 9地区の活動内容の把握 表彰制度の検討・導入、案内看板の統一検討・随時導入、道の駅との連携強化	各県プロジェクトの立ち上げの働きかけと支援(1地点) 各県プロジェクトの立ち上げの働きかけと支援(1地点)	各県プロジェクトの立ち上げの働きかけと支援(1地点)	
	③「中国地域の観光地の魅力度調査」の実施(四国圏対象)と関係先への情報提供	○毎年1地域圏を対象に調査実施と関係機関への情報提供	四国圏を対象とした調査 プレス・報告書配布△ 中国地方を対象とした調査 プレス・報告書配布△ 首都圏を対象とした調査 プレス・報告書配布△			

中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿)	2019年度事業計画		活動スケジュール			委員会
	活動内容	活動指標 (KPI)	2019年度	2020年度	2021年度	
(2) 外国人観光客の満足度および利便性の向上に向けた環境整備						
○外国人旅行者向け情報環境の向上	①外国人向け観光案内所増設および機能強化の支援 ・山陰インバウンド機構と連携した山陰側観光案内機能の充実 ・中国地域の観光案内所のネットワーク化と人材育成 [中国地域観光推進協議会と連携] ②無料Wi-Fi環境の整備促進 ・中国5県と連携した整備計画の推進による強化等	○外国人観光案内所の増設・機能強化支援 [2ヶ所増設/年] ○外国人観光客への無料Wi-Fi環境の整備による利便性向上 [整備率：100%]	山陰インバウンド機構と連携した山陰側観光案内所増設の働きかけ			観光文化
			中国地域観光推進協議会と連携した観光案内所スタッフの研修会実施			
○主要都市における外国人観光旅行者対応可能な飲食・宿泊施設の拡大	①食に関する多様な外国人旅行者ニーズに対応する受け入れ環境整備の支援 ・ベジタリアン・ムスリム対応飲食店マップの整備 ・飲食店・宿泊施設に対する外国人旅行者対応の支援等	○外国人旅行者対応都市の拡大 [1都市/年]	アクセスポイント整備計画の見直し (年1回)			
			2019年3月見直し後の整備計画に基づき整備進捗状況の把握・追加整備 (年2回)			
○外国人旅行者の広域周遊促進に向けた2次交通利用の拡大	①中国地域観光推進協議会と連携した都市間高速バス活用による広域周遊観光の促進 ・交通事業者と連携した観光地、周遊チケット等の情報発信 ・海外メディアを活用した情報発信 ・都市間高速バス活用に向けた広域周遊観光アクセスマップ作成 等	○都市間高速バスの外国人旅行者利用拡大にむけた環境整備 [・webサイトの作成 ・観光マップの作成]	対応可能施設マップの更新 △	対応可能施設マップの更新 △	対応可能施設マップの更新 △	
			交通事業者の公式サイトでの情報発信 メディア招請 広域周遊観光アクセスマップ作成	2019年度の取組みを踏まえ、次の取組みを検討		

エネルギー多消費型の産業比率が高い中国地域の国際競争力を維持していくためには、低廉で安定的な電力供給が不可欠であり、原子力発電所の早期再稼働、石炭・LNG燃料の高効率活用、再生可能エネルギーの低コスト化・供給安定性の確保など「S+3Eのバランスのとれたエネルギー環境政策」の実現を目指す。また、低炭素型経済社会の実現に向け、水素・次世代エネルギーの技術開発ならびに民生部門における省エネの促進に取り組む。

4. S+3Eのバランスのとれたエネルギー環境政策の推進

中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿)	2019年度事業計画		活動スケジュール			委員会
	活動内容	活動指標 (KPI)	2019年度	2020年度	2021年度	
(1) 合理的かつ現実的なエネルギー・環境政策の推進						
○S+3Eのバランスのとれたエネルギー環境政策の推進による低廉で安定的なエネルギーの確保	<p>①エネルギー環境政策の動向や産業界への影響に関する調査・情報収集 [主な調査・情報収集内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パリ協定に基づく長期成長戦略策定に向けた政府の検討状況 ・FITの抜本の見直し等再生可能エネルギーの低コスト化・供給安定性確保に向けた政策の動向 ・カーボンプライシング等エネルギーコストにかかる施策の検討状況 <p>②S+3Eのバランスのとれたエネルギー環境政策への理解促進・啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会やエネルギー関連施設の視察 <p>③政府等への政策要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー環境政策の産業界への影響や会員アンケートを踏まえ、原子力の早期再稼働、石炭・LNG燃料の高効率活用、カーボンプライシングへの慎重な対応などについて政府等へ要望 	○現実的な政策の実現に向けた調査・情報収集、啓発活動と政策要望 講演会 2回 視察会 1回 要望 1回	調査・情報収集 △ 委員会	調査・情報収集 △ 委員会	調査・情報収集 △ 委員会	エネルギー環境
			△ 講演会 視察会 △ 講演会	△ 講演会 視察会 △ 講演会	△ 講演会 視察会 △ 講演会	
			会員アンケート △ 要望	会員アンケート △ 要望	会員アンケート △ 要望	
(2) 低炭素化に係る技術開発の促進						
○水素・次世代エネルギーおよび低炭素化に資する先進的な技術開発の促進	<p>①水素・次世代エネルギーの開発動向に関する調査・情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周南市水素関連産業創出勉強会等へ参画 <p>②水素・次世代エネルギーへの理解促進・啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低炭素化関連施設の視察 ・「水素・次世代エネルギー研究会」と連携した講演会開催 	○低炭素化技術開発に向けた調査・情報収集と啓発活動 講演会 2回 視察会 1回	調査・情報収集 △ 委員会	調査・情報収集 △ 委員会	調査・情報収集 △ 委員会	エネルギー環境
			△ 視察会 講演会 △ 講演会	△ 視察会 講演会 △ 講演会	△ 視察会 講演会 △ 講演会	
(3) 民生部門における省エネの促進						
○省エネ型ライフスタイルの浸透・定着による温室効果ガス排出削減の促進	<p>①民生部門における省エネの理解促進・啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官民連携した省エネイベント実施など中国地域発展推進会議による省エネ推進の取り組み ・省エネ促進やスマートコミュニティ形成に係る、広島市と連携した講演会開催 	○省エネ意識の浸透・定着に向けた啓発活動 イベント 1回 講演会 1回	省エネ啓発 △ 推進会議 イベント	省エネ啓発 △ 推進会議 イベント	省エネ啓発 △ 推進会議 イベント	エネルギー環境
			△ 講演会	△ 講演会	△ 講演会	

■ 広域経済圏の形成に資する基盤整備の促進

1. 圏域の拠点となる都市の機能強化

人口の流出に歯止めをかけ、地方圏に人材・企業を呼び込むため、中小都市が取り組む圏域単位での都市機能強化、地域経営、中核都市が取り組む都市機能強化、産業基盤強化等に必要な施策への提言等を実施するとともに、国の機関や自治体が進める広域地方計画や広域ビジョン等への参画・支援等を行う。

中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿)	2019年度事業計画		活動スケジュール			委員会
	活動内容	活動指標 (KPI)	2019年度	2020年度	2021年度	
広域連携・都市機能の強化に向けた提言、行政との連携強化						
○広域連携・都市機能・産業振興強化による人口のダム効果の発揮	①地方都市の都市機能強化・広域連携強化 ・広島都市圏における都市機能強化への支援 [研究開発機能の広域化についての方策とりまとめ、提言] ・中海・宍道湖・大山圏域の広域連携強化への取り組み支援 [経済循環、稼ぐ力の強化等についての方策のフォローアップ]	○広域連携・都市機能強化とそれに資する交通基盤整備に関し関係機関に対し継続的に提言 [提言 1件/年以上]	△提言 広島都市圏域 (2018より継続) → 中国地域における広域連携への取組検討 (地域の持続性を高める人口効果の高い都市圏の形成) 各圏域の繋がり、連携方策等の検討	△提言 中国地域における広域連携への取組検討 (地域の持続性を高める人口効果の高い都市圏の形成)	△提言	地域づくり
			○連携中枢都市圏連携事業の推進 [意見具申 2件/年]	中海都市機能強化・交通基盤整備促進に向けた調査・提言 (フォローアップ) 広域地方計画PT (中国地整) 地方創生総合戦略評価WG (広島県) 総合計画審議会 (広島市) 答申 拠点性強化懇話会・WG (広島市) 拠点性強化懇話会・WG (広島市) 協働する自治体の拡大 中国圏広域地方計画のフォローアップ		

2. 中山間地域の再生

中山間地域振興の観点から、民間のノウハウを活用した地域づくりの先進事例をベースとしたより効果的・効率的な地域振興の各種施策の展開を支援する。さらには、農商工連携による農業の成長産業化を促すとともに、地域商社等を活用して中国地方産品の販売拡大を図ることを通して、中山間地域における生活機能の維持と地域経済循環の促進を図る。

中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿)	2019年度事業計画		活動スケジュール			委員会
	活動内容	活動指標 (KPI)	2019年度	2020年度	2021年度	
地域振興策の策定・先進的な地域振興モデルの事業化推進						
○先進的な地域振興モデルの発掘・展開ならびに中国地域農産品・工芸品等の販売拡大 ・中国地方からの食品輸出額 [(2017年) 161億円 → 180億円] ・官民による効果的な地域振興策の共有・実施	①地域商社等による農産品および地域工芸品等のブランド化・販売促進に関する調査の実施と地域商社展開可能性の検討 ②中国地域農商工連携協議会による農業の成長産業化に関する意見交換等、農商工マッチングの推進およびスマート農業の普及促進 ・スマート農業の導入を先導するラボの設置等、産学官連携による実現可能性と中国地方への普及促進策を検討 ③地域資源を活用した地域づくり (例、民泊、UIJターン、民間活力促進等) の実現に向けた調査実施、行政・企業との連携可能性・支援策の検討 ・行政機関・大学等と連携し、オンリーワン・ナンバーワン企業冊子 (2018年度作成) の活用によるUIJターン促進 ・新規調査 (候補) ・中国地方におけるSDGs達成に効果的な推進方策と好適事例 (普及促進セミナー等とセット) ・古民家再生による地域づくり ・法改正後の外国人材活用拡大可能性と環境整備 ④山陰自動車道等の交通ネットワークを活かした「小さな拠点」を中心とする地域振興策の提言 ・基幹高速道路沿線「道の駅」を拠点とする地域振興方策の検討 ・サイクリングルートの基盤強化等に基づく「小さな拠点」の整備促進	○農商工連携の推進 (農商工連携協議会の開催) 1回/年 ○地域づくりモデル事例発掘 (調査実施及び調査結果の展開) 1回/年 ○地域拠点整備のモデルづくり (提言) 1件/年以上	地域商社等中国地方産品ブランド化・販売促進調査 調査結果取り纏め 農林水産品輸出促進事業 △ 農商工連携協議会 スマート農業普及活動 → △	調査結果・展開、輸出促進連携施策の検討・実施 農林水産品輸出促進事業 △ 農商工連携協議会 スマート農業普及活動 → △	行政機関・地域商社等との連携事業の実施 農林水産品輸出促進事業 △ 農商工連携協議会 スマート農業普及活動 → △	地域づくり
			地域づくり調査 → 調査結果取り纏め 前年度調査結果の展開 支援措置等 行政との支援方策調整 地域づくり先進的モデル事例の発掘	地域づくり調査 → 調査結果取り纏め 前年度調査結果の展開 支援措置等 行政との支援方策調整 地域づくり先進的モデル事例の発掘	地域づくり調査 → 調査結果取り纏め 前年度調査結果の展開 支援措置等 行政との支援方策調整	

人口減少・高齢化が進行するなか、中国地域が自立的な発展を維持していくため、地域が連携しながら広域的な経済・生活圏の形成を促すとともに、安全で安心な災害に強い、交通基盤の整備促進に向けた取り組み支援・提言等を行う。

3. 広域的な連携・交流を促進するネットワークの整備

中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿)	2019年度事業計画		活動スケジュール			委員会
	活動内容	活動指標 (KPI)	2019年度	2020年度	2021年度	
交通・情報インフラ等の基盤整備・利活用の促進						
【道路】 ○高規格幹線道路等の早期整備 <ul style="list-style-type: none"> 山陰自動車道の早期整備(ミッシングリンク解消) 都市間の連携や都市機能の強化に資する地域高規格道路網の早期整備の推進 激甚災害の頻発する地域特性を踏まえた重要物流道路制度による機能強化等の推進 	【道路】 ①山陰自動車道の整備促進に資する提言・要望の実施 [地元行政・経済界と連携した要望活動] ②各都市圏・都市間道路の整備促進活動の展開 <ul style="list-style-type: none"> 広島～岡山の各都市間を結ぶ地域高規格道路等の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> 山陽自動車道のダブルルート化 <ul style="list-style-type: none"> 東広島廿日市道路・福山本郷道路・倉敷福山道路・岡山倉敷道路の早期整備 [協議会等への参画, 中央要望等] 広島・岡山都市圏の基盤強化へ向けた整備促進 <ul style="list-style-type: none"> 西広島バイパスの事業再開 [検討会参画等] 東広島・安芸バイパス, 広島南道路の早期整備 [2号・54号期成同盟会への参画, 中央要望等] 岡山倉敷道路の早期事業着手 [地元行政・経済界と連携した機運醸成等] 広島都市圏道路の新たな整備促進 [関係機関との意見交換等に伴う地元機運の醸成] 下関北九州道路の整備促進 [整備促進大会の開催, 検討会への参画, 中央要望等] ③災害時における道路機能強化への調査・要望の実施 <ul style="list-style-type: none"> 既設道路の老朽化・安全対策の促進 緊急輸送道路の整備・機能強化等 <ul style="list-style-type: none"> 山陽自動車道のバイパス機能強化(ダブルルート化) [リダンダンシー確保への取り組み強化] 4車線化をはじめ暫定2車線区間の交通機能強化 重要物流道路制度を活用した機能強化 <ul style="list-style-type: none"> 2018年7月豪雨災害のフォローアップ [重要物流道路の適用選定に向けた関係機関との連携] 	○地域の基幹道路ネットワーク、拠点港湾・空港の活用に向けた交通・物流基盤の整備促進 [提言・要望 1件以上/年]	△要望 ■個別重点路線の整備促進強化へ向けた関係機関との連携による活動 <ul style="list-style-type: none"> 下関北九州道路の整備推進 (計画段階評価) <ul style="list-style-type: none"> △大会・要望(年2～3回) △検討会・WG(年3～4回) 西広島バイパス事業の再開推進 (計画段階評価) <ul style="list-style-type: none"> △要望 △検討会参画(年3～4回) 2018.7月豪雨災害のフォローアップ ①山陰自動車道等の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> 山陰道圏域 山陰自動車道, 中海・宍道湖・大山圏域の内外を結ぶ高速道路網の整備促進(調査検討実施の連携等) ②各都市圏・都市間道路の整備促進活動の展開(山陽道のダブルルート化) <ul style="list-style-type: none"> 広島都市圏 東広島廿日市道路・福山本郷道路等の都市圏交通網の整備促進 岡山都市圏 岡山倉敷道路, 倉敷福山道路等の整備促進 ③都市機能強化・交通基盤整備促進に向けた調査・提言 <ul style="list-style-type: none"> 重要物流道路制度の運用・広島県間の基幹道路の4車線化等へ向けた経済影響等の把握(調査検討実施の連携等) 関係機関との意見交換実施 	地域づくり 関門連携		
【港湾】 ○地域拠点港の機能充実・強化 <ul style="list-style-type: none"> 重要拠点港(境港, 水島港, 広島港等)における物流高度化に向けたハード・ソフト施策(物流戦略チーム等における検討)の着実な進捗促進 安全で安心な災害に強い港湾施設・機能の整備 	【港湾】 ①地域拠点港の振興に向けた基盤整備・利活用の促進 <ul style="list-style-type: none"> 広島, 水島, 境港等の物流基盤整備の強化促進 [中国地方国際物流戦略チーム, 広島港利用高度化検討会への参画] 瀬戸内海クルーズ振興への受け入れ環境, サポート体制の整備促進 [瀬戸内海クルーズ推進会議への参画等] ②港湾における耐震強化・防災拠点の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> 船舶を利用した緊急・代替輸送, 保管機能の強化 [物流ネットワーク機能検討WGにおける検討] 	○地域の基幹道路ネットワーク、拠点港湾・空港の活用に向けた交通・物流基盤の整備促進 [提言・要望 1件以上/年]	①利用者懇談会, 部会における各港湾強化策の検討 <ul style="list-style-type: none"> △部会・本会議 △利用者懇(年2～3回) 各港湾の特色を踏まえた企業間連携, 物流効率化の支援策の検討 ②WGによる広域物流ネットワークの強靱化への検討<WG立上げ> △WG立上げ(国, 関係機関) ③クルーズ推進会議によるクルーズ船寄港需要への対応向上の推進			
【空港】 ○地域拠点空港の機能充実・強化 <ul style="list-style-type: none"> 経営改革導入への動きを踏まえた, 広島空港を核とする地域活性化の促進 	【空港】 ①広島空港の将来像(2018.8提言)に基づく, 広島空港の機能強化策の促進 <ul style="list-style-type: none"> 空港アクセスの整備促進 [東広島・安芸BP, 広島中央フリーロード等の早期整備促進] [広島空港アクセス対策ワーキング部会参画] 広島空港を基点とする二次交通基盤の活性化促進 	○地域の基幹道路ネットワーク、拠点港湾・空港の活用に向けた交通・物流基盤の整備促進 [提言 1件以上/年]	■広島空港をはじめとする地域拠点空港の機能強化に向けた検討, 提言 広島空港 2018提言等に基づく地域拠点空港の整備促進への機運醸成 <ul style="list-style-type: none"> 二次交通活性化への取り組み △広島空港民営化(2021.4月目途)			
【鉄道】 ○地域における広域幹線鉄道網の整備	【鉄道】 ①中国地域の未整備区間における新幹線整備に関する動向調査・検討		■中国地域の未整備区間における新幹線整備に関する動向調査・検討 △提言	△提言		

中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿)	2019年度事業計画		活動スケジュール			委員会
	活動内容	活動指標 (KPI)	2019年度	2020年度	2021年度	
【情報】 ○地域課題解決を目的とした自治体へのICT実装拡大	【情報】 ①広域データを活用した課題解決を促すため必要となるデータ群(データセット)およびそのフォーマット等の標準化を推進 ・中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブルを設置し、データの広域利活用に向けた協議を開始、昨年の災害を受け、広島と倉敷で進む防災をテーマに具体化を検討中 ・中国電力・中国地域創造研究センター・当連合会とともに自治体データのオープン化の先進事例調査研究を並行して進め、オープン化と活用促進に向けた指針を策定	○ラウンドテーブルの設置	協議の場の設置に向けた準備(メンバー、場所、ワーク事例等) <small>(中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル)</small> △協議(複数自治体で開始)	協議(複数の自治体と企業で実施)、整備	地域課題解決データセット公開	産業技術情報通信
	②観光客の満足度向上と誘客へ向けた観光モデル構築・展開 ・倉敷市美観地区の観光モデル(※)作成のための実証実験の実施とモデルの作成 (※)観光振興のための施策効果を検証できるシミュレーションモデル ・倉敷モデルの活用を通じた継続的なモデルの精度向上と他地域への展開	○原型モデルの作成	実証実験：倉敷(原型モデル作成)	実証実験：モデル拡充	観光モデルを整理・展開	
○ICT利活用に関する啓発活動、情報発信の展開	①ICT, ITS, 放送と通信などの連携に関する最新動向や事例の情報提供 ・中国地域ICT利活用研究会 ・ITSに関わる講演会・研究会 ・放送と通信の連携などに関わる講演会・研究会		△ ICT利活用 △ 放送と通信の連携 △ ITS研究会	△ ICT利活用 △ 放送と通信の連携 △ ITS研究会	△ ICT利活用 △ 放送と通信の連携 △ ITS研究会	

中国5県の産業競争力の強化、自立・活性化、防災・減災対策の促進等の観点から、行財政上の課題を調査・研究し、政府等への政策提言等を行うとともに、地方自治体と連携した地方分権改革の気運醸成や、中国地域または中四国地域の広域的な検討が必要とされている課題について、官民連携した対応策を協議し、必要に応じて共同施策を実行する。

4. 地域の活性化に資する地方分権等の実現

中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿)	2019年度事業計画		活動スケジュール			委員会
	活動内容	活動指標 (KPI)	2019年度	2020年度	2021年度	
(1) 税制・社会保障制度改革の提言，地方分権改革の推進						
○中国5県の活性化に資する行政・財政制度の検討と，政府への提言等を通じた着実な実現	<ul style="list-style-type: none"> ①中国5県の地域課題の調査を踏まえ，地域の持続的成長に資する税制改革案をとりまとめの上，与党税制調査会等へ提言 ②税制改革，財政健全化，社会保障制度改革，首都圏一極集中是正等に関する講演会の開催 ③地方分権改革・広域連携推進の気運醸成に資する取り組みの展開 ④広域防災および企業の防災・減災対策（BCP・BCM）に資する取り組みの展開 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域活性化（経済発展・地方創生）に資する税制改革等の推進 提言要望 1回/年 啓発活動 1回/年 	<p>調査・検討 → 調査・検討 → 調査・検討 → 調査・検討</p> <p>△ △ 政府への提言・要望 (税制改革，総括)</p> <p>△ △ △ 地方分権改革・広域連携気運醸成に資する啓発活動</p>	<p>△ △ 政府への提言・要望 (税制改革，総括)</p> <p>△ △ △ 地方分権改革・広域連携気運醸成に資する啓発活動</p>	<p>△ △ 政府への提言・要望 (税制改革，総括)</p> <p>△ △ △ 地方分権改革・広域連携気運醸成に資する啓発活動</p>	行財政
(2) 広域的課題への官民連携した取り組みの促進						
○中国地域または中四国地域の広域的な課題について，対応策に関する官民での共通認識の形成と解決策の実現	<ul style="list-style-type: none"> ①「中国地域発展推進会議」（中国5県，各県経済界代表，当連合会） <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド観光の振興や時宜に応じた広域的課題等について協議 ・省エネ推進に向けて官民連携のもと5県一斉のキャンペーンを展開 ②「中四国サミット」（中四国9県，四経連，当連合会） <ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災対策，観光振興，交通ネットワーク整備等の課題を協議 ・中四国の官民が連携し，企業によるBCPの策定や見直しを促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政と連携した課題解決の推進 中国地域発展推進会議 2回/年 中四国サミット 1回/年 	<p>広域的な課題の検討・対応 → 広域的な課題の検討・対応 → 広域的な課題の検討・対応</p> <p>△ △ △ 発展推進会議</p> <p>△ 中四国サミット</p>	<p>△ △ △ 発展推進会議</p> <p>△ 中四国サミット</p>	<p>△ △ △ 発展推進会議（事務局）</p> <p>△ 中四国サミット</p>	共通

生産年齢人口の減少に伴う人手不足を背景に、女性、外国人を含む多様な人材の活躍と働き方改革を進める企業の主体的な取り組みをサポートし、生産性の向上とイノベーションの創出を図る。

2. 多様な人材の活躍推進

中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿)	2019年度事業計画		活動スケジュール			委員会
	活動内容	活動指標 (KPI)	2019年度	2020年度	2021年度	
働き方改革・女性活躍等の推進						
○働き方改革・多様な人材の活躍推進による生産性の向上とイノベーションの創出 ・働き方改革・多様な人材活用を積極的に推進する企業の割合 [(2018年11月) 58% → 75%] ・中国地域の待機児童数 [(2017年4月) 1,453人 → 0人]	①働き方改革・多様な人材活躍の一層の推進と企業の主体的な取り組みの支援 ・大学等と連携したオンリーワン・ナンバーワン企業紹介冊子(2018年度作成)の活用による企業の人材確保(大学生の地元就職)支援 ・行政と経済界が連携した施策への参画 ・事例紹介や講演会の開催, 意見交換の場の提供等により働き方改革・生産性改善に向けた企業の主体的な取り組みを支援 ②女性による起業・イノベーションの推進と女性活躍のロールモデルの顕在化促進 ・行政・金融機関等と連携して中国地域女性ビジネスプランコンテストSOERUを開催 ・女性起業家のネットワーク化・事業化を支援 ③働き方改革・就労と子育てが両立できる環境整備等(育児サービス, 税制・社会保障制度)に関する提言・要望の実施 ④留学生就業の支援, 就労推進(インターンシップの活用等, 県・大学等による取り組みとの連携強化) ・大学等と連携したオンリーワン・ナンバーワン企業紹介冊子(2018年度作成)を活用した留学生の中国地域への就職促進 ・中国地域企業の外国人材の活用の実態に基づく, 必要な環境整備等要望の実施	○多様な人材が活躍できる環境整備の推進 働き方改革・多様な人材活用推進企業の割合 65%以上 ○女性による起業の推進 起業支援事業の実施 1回/年 ○働き方改革等の条件整備 提言要望 1回/年	冊子を活用した地元就職支援 → 必要に応じて内容の更新・大学等への周知等, 適宜地元就職支援に活用	行政と連携した施策への参画 → 行政と連携した施策への参画 △啓発活動	行政と連携した施策への参画 → 行政と連携した施策への参画 △啓発活動	地域づくり
			ビジネスプラン募集・審査・表彰 → ビジネスプラン募集・審査・表彰 △	ビジネスプラン募集・審査・表彰 → ビジネスプラン募集・審査・表彰 △	ビジネスプラン募集・審査・表彰 → ビジネスプラン募集・審査・表彰 △	
			サポート企業とのマッチング等起業・事業化支援 △ 女性起業家の交流促進事業 → 女性起業家の交流促進事業 中経連懇談会等, 起業家と企業との交流の場を設定	サポート企業とのマッチング等起業・事業化支援 △ 女性起業家の交流促進事業 → 女性起業家の交流促進事業 中経連懇談会等, 起業家と企業との交流の場を設定	サポート企業とのマッチング等起業・事業化支援 △ 女性起業家の交流促進事業 → 女性起業家の交流促進事業 中経連懇談会等, 起業家と企業との交流の場を設定	
			企業の国際化・外国人材活用課題のフォロー → 環境整備等要望 △	企業の国際化・外国人材活用課題のフォロー → 環境整備等要望 △	企業の国際化・外国人材活用課題のフォロー → 環境整備等要望 △	
企業の取り組み状況に応じて支援策充実			企業の取り組み状況に応じて支援策充実	企業の取り組み状況に応じて支援策充実	企業の取り組み状況に応じて支援策充実	

Ⅲ. 行政・経済団体等との連携・懇談活動等

事業項目	活動内容
1. 行政・経済団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地域発展推進会議や中四国サミット等を通じ, 行政と経済界が一体となった広域的課題への対応を促進 ○ 中国地方経済懇談会や西日本経済協議会等の活動を通じ, 経済団体間の交流促進・連携強化 ○ 関門連携委員会を通じ, 九州経済連合会と協働して関門地域の振興を促進
2. 懇談活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地方選出の国会議員と懇談会を開催し, 国等への提言・要望への支援を働きかけ ○ 地区会員懇談会や新会員懇談会を開催し, 会員の意見を事業活動に反映
3. 支援・協働活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域経済研究推進協議会を通じ, 地元の大学・シンクタンクの研究活動を支援 ○ 各種審議会や委員会等への参画を通じ, 地域の活性化に資する活動を支援
4. 広報・組織強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会報・ホームページによる広報やマスコミへの情報提供を通じ, 事業活動への理解促進・認知度向上

